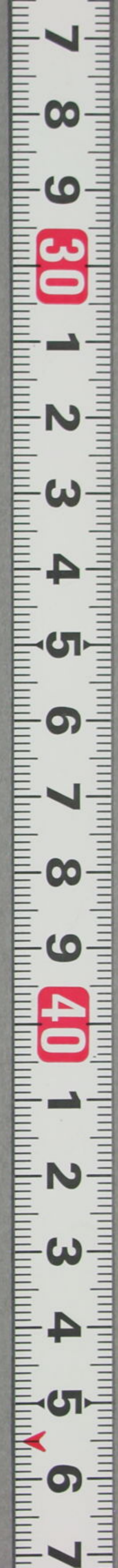


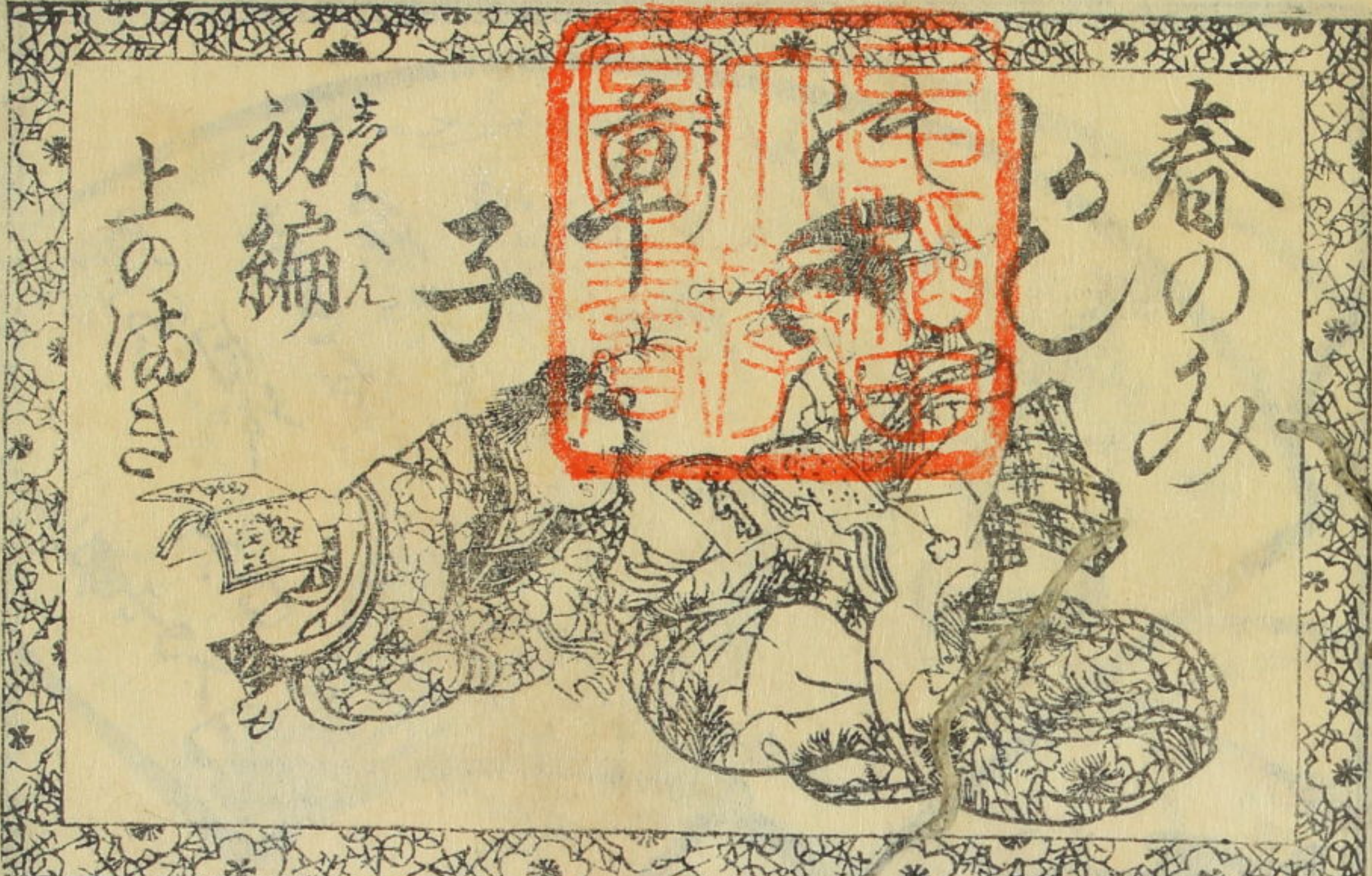


京山作
遊園画



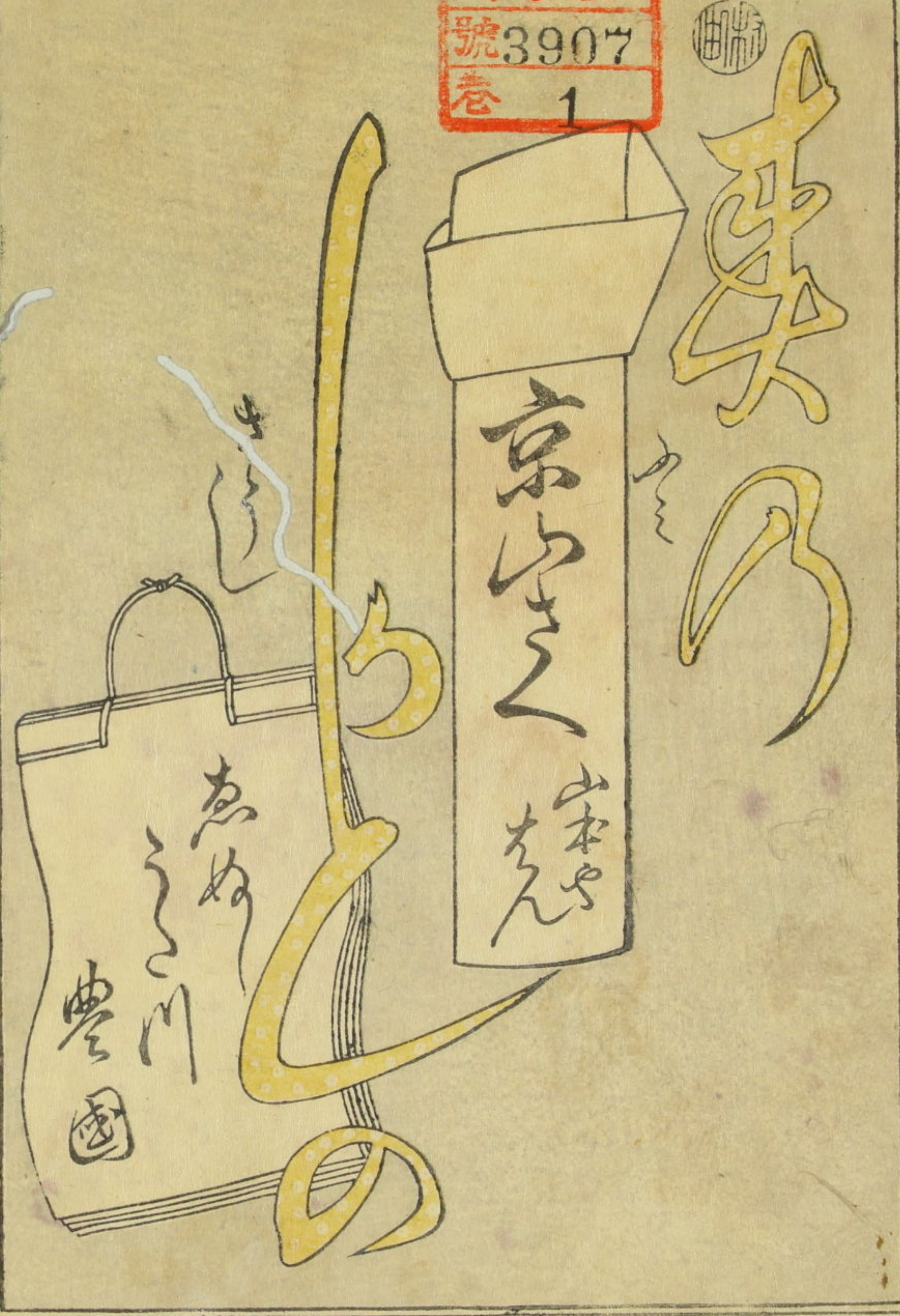
~13
3907
1





唐土の天むしあまのむしの作りあまのむしの荀子あまのむしとの春物の
 十一巻目の天論篇とを天道てんどうのあつらひの
 と説とくする事こと詳こまりてこれを摘とりて謂いふ天てんの言ことばの
 自みづから人の人ひとの狭せまい幸さいゆへに玉たまの人の行ことの善よき
 悪わるきをそよもあつらひの天職てんしやくと云いふ
 とつらふたのあつらひのいとよも善人ぜんじんを奉ほう
 て善よきを勸すすめ悪人あくじんをいごとて悪わるきを懲とがす
 ふよそをそよもあつらひのいとよもたつたれ
 たる稗史ばいしの作者さくしやがよあつらひのいとよも
 せんせんと云いふ
 弘化四年未春稿本
 弘化五年申春新板
 山東庵京山

門 へ13
 號 3907
 卷 1





非改端

今ハ世ハ... 山ノふけ... 百姓孫作... 孫作ノ... 孫作ノ... 孫作ノ...



山川一景
百姓孫作



今ハ世ハ... 山ノふけ... 百姓孫作... 孫作ノ... 孫作ノ... 孫作ノ...

今ハ世ハ... 山ノふけ... 百姓孫作... 孫作ノ... 孫作ノ... 孫作ノ...

りわある...
 せいの...
 さ...
 つ...
 た...
 あ...
 の山川...
 五...
 さ...
 さ...
 さ...
 さ...
 さ...
 さ...
 さ...
 さ...
 さ...
 さ...

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十

甲...
 乙...
 丙...
 丁...
 戊...
 己...
 庚...
 辛...
 壬...
 癸...
 甲...
 乙...
 丙...
 丁...
 戊...
 己...
 庚...
 辛...
 壬...
 癸...

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十

①
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百



一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百



小はるよ
 孫作

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百



編

田村



また一室の
むのあきう
てうらん
けてをば
入れかまひ
く小小は
せあうたを
わこのひの田
あきそむたあ人もあらんを
あせもちづこひ小とせ田たなり

その二
は時てうふより合ありて
あふたふ村のまや
あふふ二人はまを
まよりかり一平が
まのうつまつたてう
あふあけてあやひつり
まあうこをま一かり
こりや大も一平のあつたを
小たうまうのうまう
こりや大へんまのあつたを
なんまうせあもくとせりりり

あいの
小

し初へん上とまより

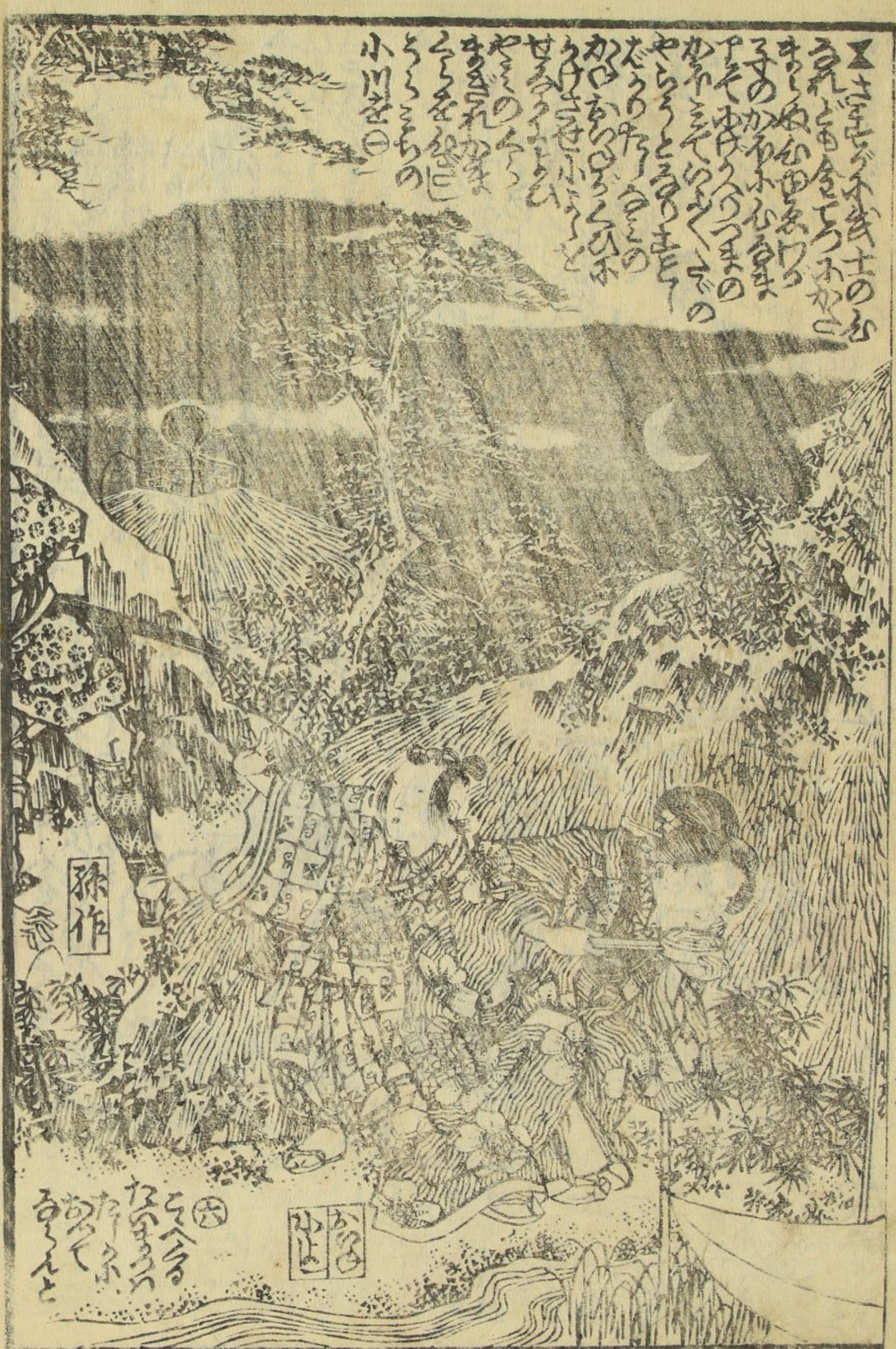
京山作
豊國画

孫作



① 此の如く
 ② 此の如く
 ③ 此の如く
 ④ 此の如く
 ⑤ 此の如く
 ⑥ 此の如く
 ⑦ 此の如く
 ⑧ 此の如く
 ⑨ 此の如く
 ⑩ 此の如く

此の如く
 此の如く
 此の如く
 此の如く
 此の如く
 此の如く
 此の如く
 此の如く
 此の如く
 此の如く

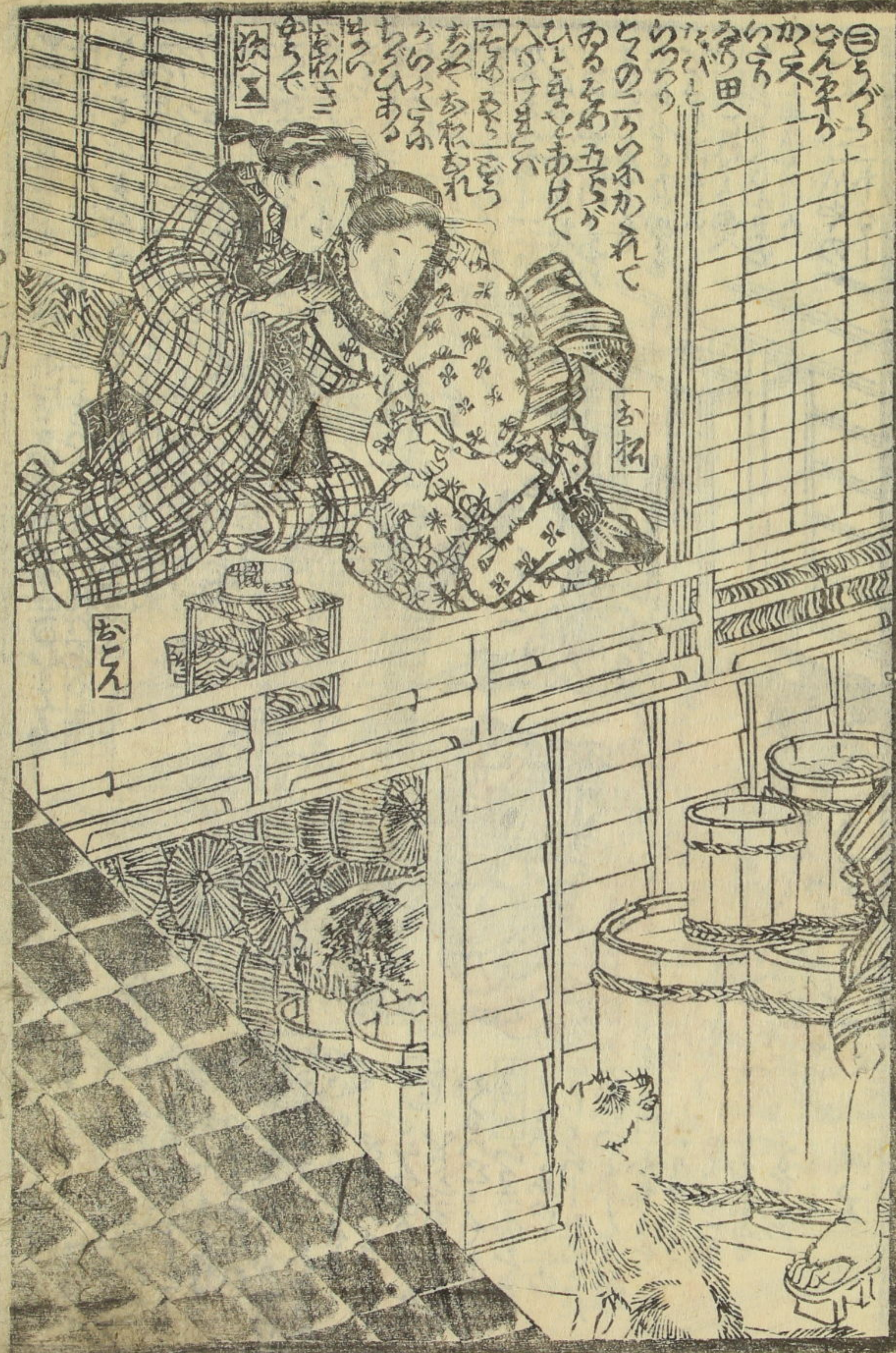


此の如く
 此の如く
 此の如く
 此の如く
 此の如く
 此の如く
 此の如く
 此の如く
 此の如く
 此の如く

孫作

山子

此の如く
 此の如く
 此の如く
 此の如く
 此の如く



しお

いひあひがこ子あんのたて
らりらりくわうまふまをて
わらふとまのがむうもあま
うくとまのまうだんを
まふもけり

あつとらりのやける
田んぼのちんちんつを
かたあつらんのたまひ
まふもあまふもあま
まふもあまふもあま
まふもあまふもあま
まふもあまふもあま
まふもあまふもあま
まふもあまふもあま

あつとらりのやける
田んぼのちんちんつを
かたあつらんのたまひ
まふもあまふもあま
まふもあまふもあま
まふもあまふもあま
まふもあまふもあま
まふもあまふもあま
まふもあまふもあま
まふもあまふもあま
まふもあまふもあま
まふもあまふもあま
まふもあまふもあま

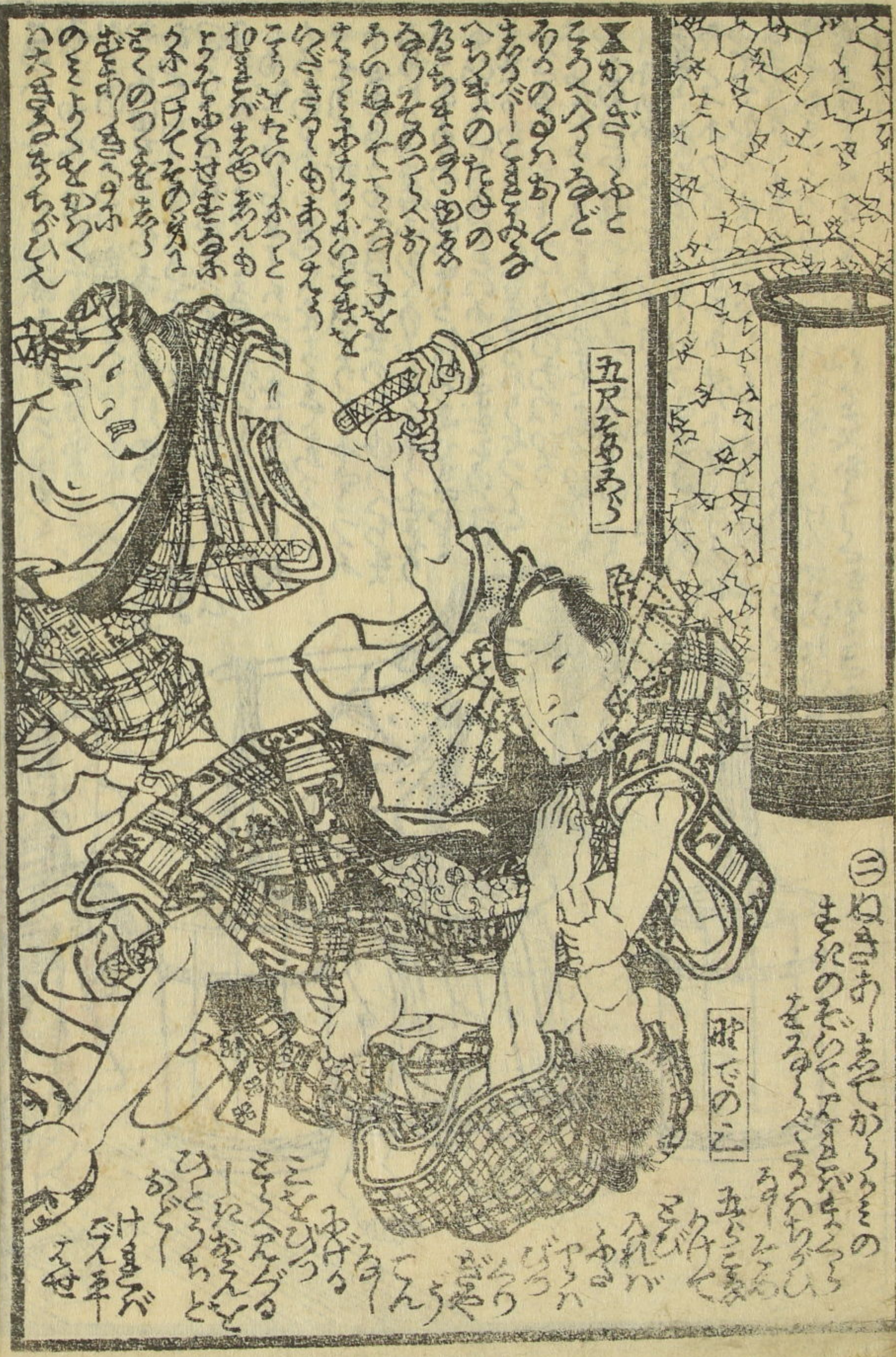


とあつとらりのやける
田んぼのちんちんつを
かたあつらんのたまひ
まふもあまふもあま
まふもあまふもあま
まふもあまふもあま
まふもあまふもあま
まふもあまふもあま
まふもあまふもあま
まふもあまふもあま
まふもあまふもあま
まふもあまふもあま
まふもあまふもあま



か

次



△かたがひも
こゝろ入るゝもど
りんのめいあて
まゝにうゝまゝに
へりまのたのめ
なりそのこゝろ
うゝめいあて
まゝにうゝまゝに
まゝにうゝまゝに
まゝにうゝまゝに
まゝにうゝまゝに
まゝにうゝまゝに

五尺五寸

① けいせいのまゝにうゝまゝに
まゝにうゝまゝに
まゝにうゝまゝに
まゝにうゝまゝに
まゝにうゝまゝに
まゝにうゝまゝに

まゝにうゝまゝに
まゝにうゝまゝに
まゝにうゝまゝに
まゝにうゝまゝに
まゝにうゝまゝに
まゝにうゝまゝに

そのめいあて
かたがひも
こゝろ入るゝもど
りんのめいあて
まゝにうゝまゝに
へりまのたのめ
なりそのこゝろ
うゝめいあて
まゝにうゝまゝに
まゝにうゝまゝに
まゝにうゝまゝに
まゝにうゝまゝに
まゝにうゝまゝに

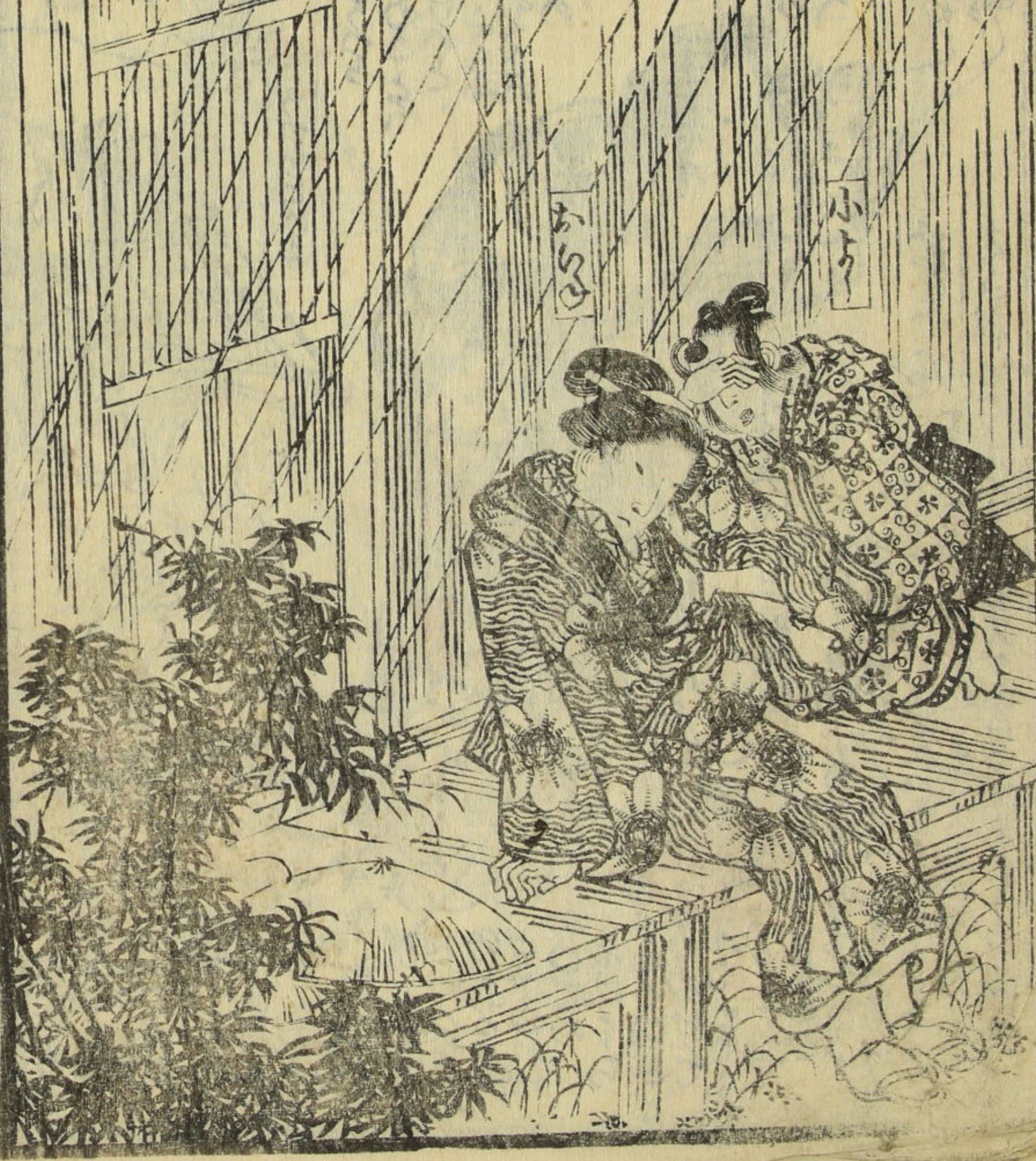
五尺五寸



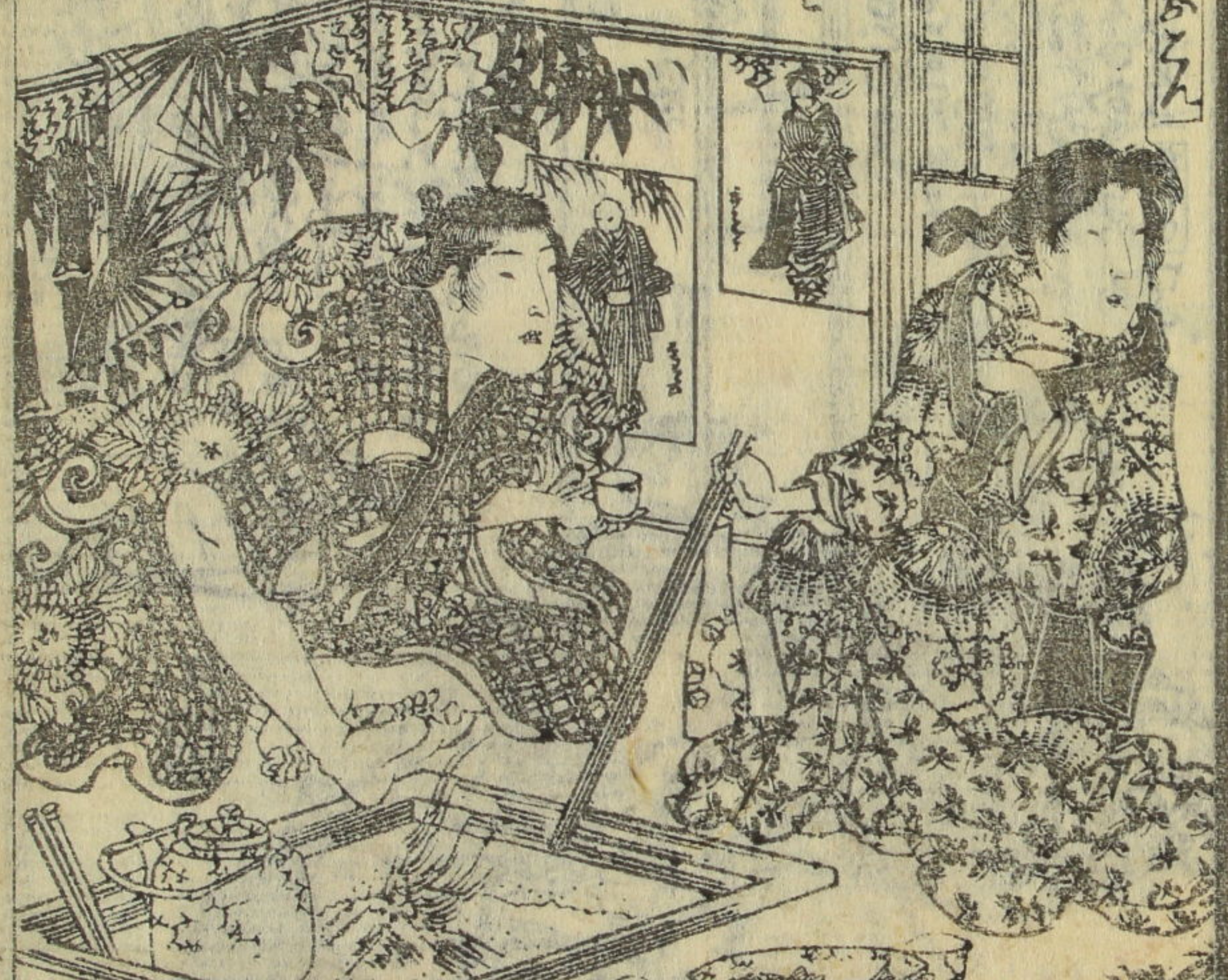
そのめいあて

第十段
十五の村
まゝにうゝまゝに
まゝにうゝまゝに
まゝにうゝまゝに
まゝにうゝまゝに
まゝにうゝまゝに

山崎のふりておけ
 けいざいもあつたひの
 ろりをつらうら
 らまがく小まらんとて
 たりのでてのまん
 ろちあて日とくじ
 あめあつらうて
 せんうらうて
 あんあつをたの
 とそとまらうけり
 あんまあつをねん
 ちあつあつわあつ
 のたき火おねれ
 ののあつとせ
 りをうらんと
 せし村のあつ
 きりいあつ
 あつのあつと
 ちてあつと
 よりあつと
 さのあつと
 まつと
 ちてあつと
 ちてあつと
 ちてあつと



せつせつめつせつ
 りのあつと
 あつとあつと
 りあつとあつと
 とあつとあつと
 せつせつめつせつ
 りのあつと
 あつとあつと
 りあつとあつと
 とあつとあつと
 せつせつめつせつ
 りのあつと
 あつとあつと
 りあつとあつと
 とあつとあつと



せつせつめつせつ
 りのあつと
 あつとあつと
 りあつとあつと
 とあつとあつと
 せつせつめつせつ
 りのあつと
 あつとあつと
 りあつとあつと
 とあつとあつと

東都錦繪所

江戸町ちやが橋角
山本平吉梓

永花百人一首二十抄

源氏六十四帖

右の源氏物語より六十四帖より
縁起をわきまに附して花巻
ありありとこれに花巻の
御座りしつゝひりの末に
御座りしつゝひりの末に
但平田技掃

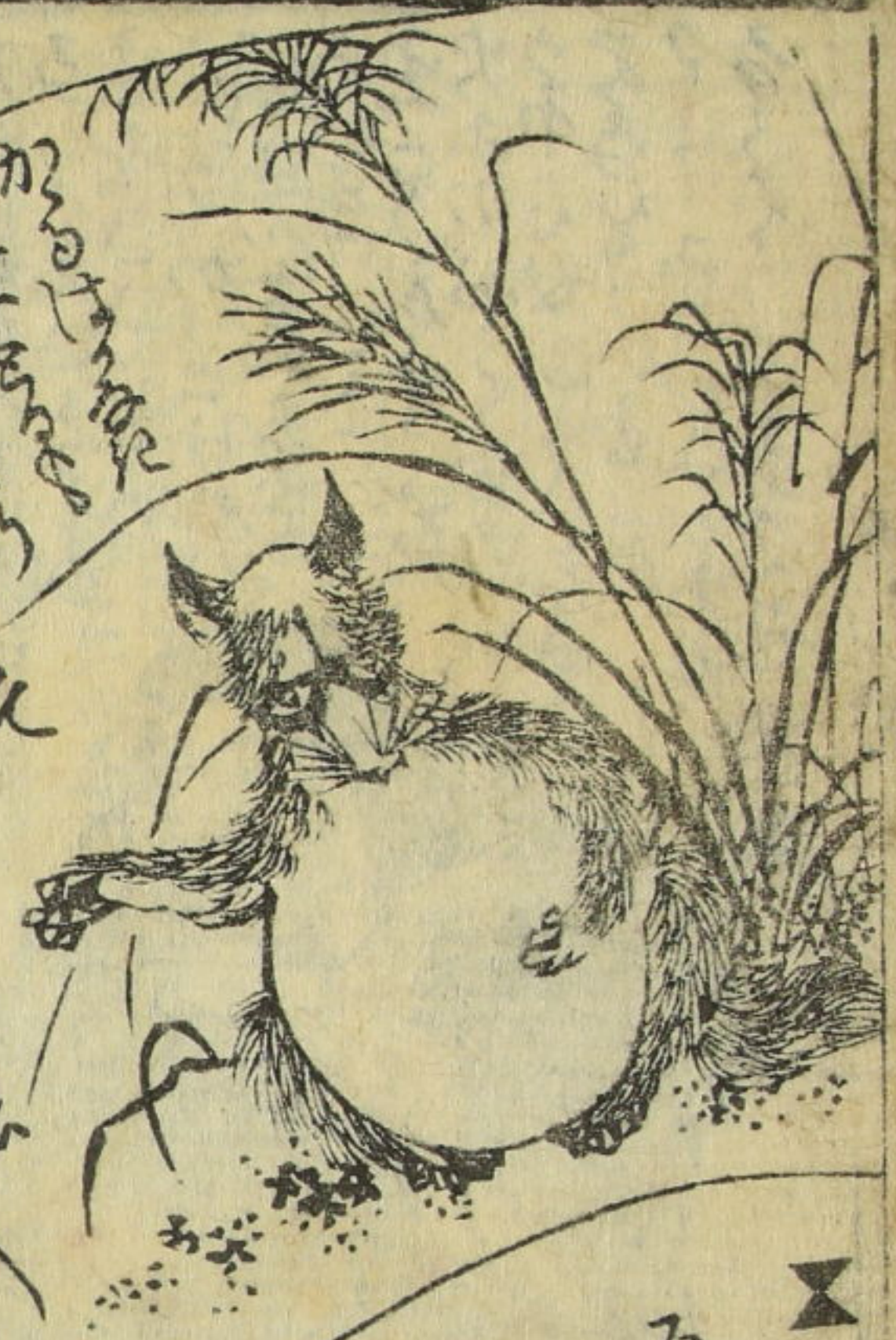
首書
繪抄

御詔染逢山鹿子 六編揃

此の御詔染逢山鹿子の
縁結妹脊双六
この御詔染逢山鹿子の
縁結妹脊双六

涼山作

豊國画
と初巻ん



江戸京を
極上
あけぬき
二十六せん

江戸京を
極上
あけぬき
二十六せん

